

# 下水道事業会計 (企業会計)

P.74 以降 ☆は拡充事業、下線部は内容

## 公営企業会計の概要について

### 1 一般会計等との違い

	官庁会計 【一般会計、特別会計】	公営企業会計 【下水道事業会計等】	企業会計 【民間企業】
会計原則	単式簿記・現金主義	発生主義・複式簿記	発生主義・複式簿記
作成書類等	予・決算書のほか事項別明細書等の説明資料	予・決算書のほか貸借対照表、損益計算書等の説明資料	貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書等

### 2 独立採算制

地方公営企業は、公共性と経済性を発揮しつつ、**独立採算を維持することが原則**であり、必要な経費は利用者に支払っていただく使用料によって賄っていく必要があります。

その一方で、本来一般会計で担うべき事業や、政策的に実施される採算ベースに乗りにくい事業など、**使用料収入によって経費を賄うことが適しない事業については、一般会計が応分の費用を負担**することとなっております。繰出金（負担金、補助金、出資金）として公営企業会計に支払います。

#### 【下水道事業会計への一般会計繰出金】

- ・汚水は使用料等で、雨水は一般会計負担で処理することが基本です。（**雨水公費・汚水私費の原則**）
- ・汚水経費のうち、処理水の水質向上などに係る経費の一部は一般会計が負担しています。

※一般会計が負担する経費は、毎年、総務省通知「地方公営企業繰出金について」で定められています。

### 3 収益的収支と資本的収支

下水道事業会計は、**収益的収支と資本的収支から構成**されています。

#### ●収益的収支

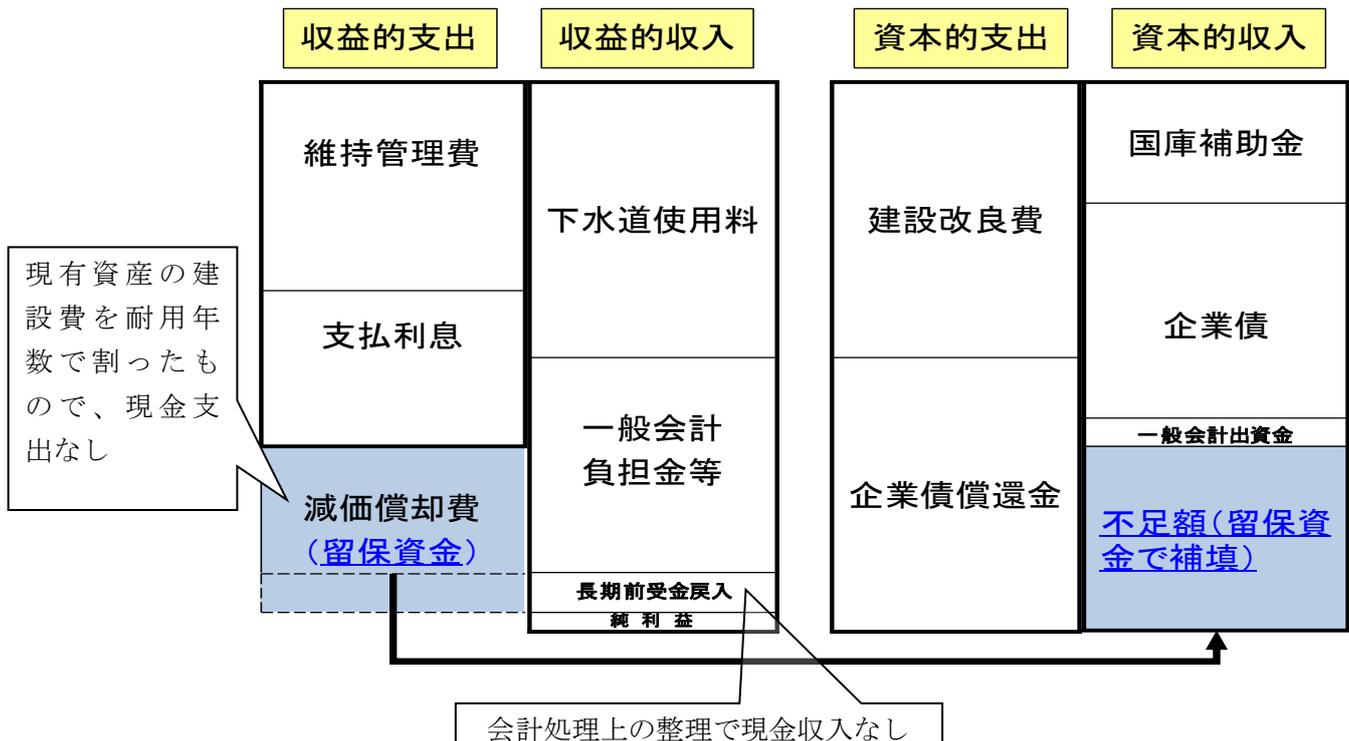
- ・収入) 当年度の使用料、雨水処理に係る一般会計からの負担金など
- ・支出) 下水道施設の運転・修繕等の維持管理費、設備等の減価償却費、企業債の支払利息

#### ●資本的収支

- ・収入) 建設経費に対する国庫補助金、一般会計からの出資金のほかは、借入金である企業債
- ・支出) 施設の新設・再整備などの建設改良費、過去の借入金の企業債償還金等

#### 【公営企業会計の特徴】

◇**資本的収支の不足分は、収益的支出の減価償却費（損益勘定留保資金）などで補てん**します。



## ＜下水道事業会計予算案総括表＞

### 収入及び支出内訳

(税込) (単位:千円)

区 分	本年度	前年度	増△減	主な増減理由
支出合計 ( A + B )	245,035,414	253,421,440	△ 8,386,026	

### ＜収益的収支＞

収益的収入	133,939,116	131,771,486	2,167,630	
下水道使用料	61,138,122	60,396,413	741,709	
一般会計負担金等 (ア)	40,531,768	38,986,713	1,545,055	雨水処理経費の増
長期前受金戻入	29,721,616	29,606,449	115,167	
その他	2,547,610	2,781,911	△ 234,301	
収益的支出 ( A )	122,282,772	121,721,660	561,112	
維持管理費	38,572,617	36,945,144	1,627,473	計画的修繕の増
減価償却費等	77,835,737	77,731,796	103,941	
支払利息等	4,515,573	5,562,066	△ 1,046,493	企業債残高の減や利率の低下による減
その他	1,358,845	1,482,654	△ 123,809	
収益的収支差引	11,656,344	10,049,826	1,606,518	
消費税等調整額	2,688,418	2,406,506	281,912	
純利益	8,967,926	7,643,320	1,324,606	

### ＜資本的収支＞

資本的収入	71,292,402	73,437,453	△ 2,145,051	
国庫補助金	14,286,664	15,092,806	△ 806,142	過年度の認証状況に基づいた国庫補助金の減
企業債	56,447,000	57,666,000	△ 1,219,000	
下水道整備事業費充当企業債	36,809,000	35,484,000	1,325,000	企業債対象事業の増
借換債	19,638,000	22,182,000	△ 2,544,000	借換対象企業債の減
一般会計出資金 (イ)	542,725	661,660	△ 118,935	
その他	16,013	16,987	△ 974	
資本的支出 ( B )	122,752,642	131,699,780	△ 8,947,138	
下水道整備費	55,981,498	55,944,413	37,085	
下水道改良費	1,129,099	1,331,647	△ 202,548	
給与費	2,001,323	2,109,106	△ 107,783	
企業債償還金	63,446,864	72,004,578	△ 8,557,714	償還期限を迎える企業債の減
企業備品購入費等	193,858	310,036	△ 116,178	
資本的収支差引	△ 51,460,240	△ 58,262,327	6,802,087	

◆ 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額51,460,240千円は、当年度損益勘定留保資金等で補てんします。

一般会計繰入金計 (ア)+(イ)	41,074,493	39,648,373	1,426,120	
------------------	------------	------------	-----------	--

## ＜下水道事業会計予算案総括表（支出関係・目別）＞

### 支出関係

(税込) (単位:千円)

維持管理に係る支出（収益的支出）	本年度	前年度	増△減	増減率
<b>1款 下水道管理費</b>	<b>122,282,772</b>	<b>121,721,660</b>	<b>561,112</b>	<b>0.5%</b>
1項 営業費用	116,408,354	114,676,940	1,731,414	1.5%
1目 管  き  よ  費	7,569,482	6,945,245	624,237	9.0%
2目 ポ  ン プ  場  費	3,326,154	3,038,108	288,046	9.5%
3目 処  理  場  費	16,471,626	15,996,714	474,912	3.0%
4目 排  水  設  備  費	116,816	83,476	33,340	39.9%
5目 業  務  費	137,158	191,082	△ 53,924	△ 28.2%
6目 水道事業会計繰出金	4,900,000	4,600,000	300,000	6.5%
7目 総  係  費	274,729	269,179	5,550	2.1%
8目 下  水  道  研  究  費	54,848	36,786	18,062	49.1%
9目 工  場  排  水  対  策  費	34,469	34,738	△ 269	△ 0.8%
10目 減  価  償  却  費	76,605,495	76,544,711	60,784	0.1%
11目 資  産  減  耗  費	1,230,242	1,187,085	43,157	3.6%
12目 給  与  費	5,687,335	5,749,816	△ 62,481	△ 1.1%
2項 営業外費用	5,732,286	6,876,907	△ 1,144,621	△ 16.6%
1目 支  払  利  息  及  び 企  業  債  取  扱  諸  費	4,515,573	5,562,066	△ 1,046,493	△ 18.8%
2目 消費税及び地方消費税	1,140,000	1,230,000	△ 90,000	△ 7.3%
3目 雑  支  出	76,713	84,841	△ 8,128	△ 9.6%
3項 特別損失	132,132	157,813	△ 25,681	△ 16.3%
1目 災  害  に  よ  る  損  失	91,670	157,813	△ 66,143	△ 41.9%
2目 そ の 他 特 別 損 失	40,462	-	40,462	-
4項 予  備  費	10,000	10,000	-	0.0%
1目 予  備  費	10,000	10,000	-	0.0%

建設投資に係る支出（資本的支出）	本年度	前年度	増△減	増減率
<b>1款 下水道事業資本的支出</b>	<b>122,752,642</b>	<b>131,699,780</b>	<b>△ 8,947,138</b>	<b>△ 6.8%</b>
1項 建設改良費	59,292,212	59,681,033	△ 388,821	△ 0.7%
1目 下  水  道  整  備  費	55,981,498	55,944,413	37,085	0.1%
2目 下  水  道  改  良  費	1,129,099	1,331,647	△ 202,548	△ 15.2%
3目 企  業  備  品  購  入  費	142,167	236,582	△ 94,415	△ 39.9%
4目 リ ー ス 債 務 支 払 額	38,125	59,285	△ 21,160	△ 35.7%
5目 給  与  費	2,001,323	2,109,106	△ 107,783	△ 5.1%
2項 企業債償還金	63,446,864	72,004,578	△ 8,557,714	△ 11.9%
1目 企  業  債  償  還  金	63,446,864	72,004,578	△ 8,557,714	△ 11.9%
3項 投  資	3,566	4,169	△ 603	△ 14.5%
1目 水 洗 便 所 改 造 資 金 貸 付 金	3,566	4,169	△ 603	△ 14.5%
4項 予  備  費	10,000	10,000	-	0.0%
1目 予  備  費	10,000	10,000	-	0.0%

## ■債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事項	期間	限度額
下水道管きよ修繕工事及び維持管理委託	令和5年度	限度額 680,000千円
ポンプ場修繕工事	令和5年度	限度額 110,000千円
北部汚泥資源化センター包括的管理委託	令和5年度から令和10年度まで	限度額 9,516,000千円
水再生センター修繕工事	令和5年度	限度額 350,000千円
下水道整備工事及び設計・測量等委託	令和5年度から令和8年度まで	限度額 43,000,000千円
エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線整備工事	令和5年度から令和12年度まで	限度額 25,000,000千円
水再生センター・ポンプ場改良工事	令和5年度	限度額 150,000千円

## ■下水道施設の維持管理・再整備・再構築と予算支出科目

### ◇ 管きよ

実施内容		支出科目	
日常的な点検・調査及び修繕		P74 (1) 管きよ費	1 管きよ等維持管理事業
改築	再整備	更新	P81 (19) 下水道整備費 1 (2) 計画的な再整備・再構築の推進
		長寿命化	

### ◇ 水再生センター、ポンプ場等

実施内容		支出科目	
日常的な点検・調査及び修繕		P74 (2) ポンプ場費 P75 (3) 処理場費	1 ポンプ場事業 1 水再生センター事業
改築	再整備	更新	P81 (19) 下水道整備費 1 (2) 計画的な再整備・再構築の推進
		長寿命化	
	再構築	P81 (19) 下水道整備費 1 (2) 計画的な再整備・再構築の推進	
改良	P82 (20) 下水道改良費 1 水再生センター・ポンプ場等の改良		

改築 : 再整備、再構築および改良のこと

再整備 : 耐用年数を超過した施設・設備に対して行う更新や長寿命化のこと

更新 : 施設・設備の全部を取り換えること

長寿命化 : 耐用年数の変更を伴う、施設・設備の一部取換えや管更生を実施すること

再構築 : 機能の維持・向上を図りながら耐用年数を超過した施設の解体・新規築造を行うこと

改良 : 経年劣化や設置環境等により機能低下した施設・設備に対して機能回復・向上及び耐用年数の延長を図ること

修繕 : 耐用年数の変更を伴わない、施設・設備の一部取換えや管更生を実施すること

■維持管理に係る支出（収益的支出）

(1)	管きよ費 収益的支出 1款1項1目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		7,569,482	6,945,245	624,237	—	—	24,874	7,544,608
<b>1 管きよ等維持管理事業</b>		<b>7,026,451 千円</b>						
約 11,900km の下水道管きよについて、ストックマネジメントの推進等、総合的な維持管理を進めます。								
<b>(1) スtockマネジメントの推進（清掃・点検・修繕）</b>		<b>6,694,051 千円</b>						
管きよの清掃に合わせたスクリーニング調査等の結果を踏まえ、状態監視保全を基本とした計画的な維持管理・改築を推進します。中大口径管では、包括的民間委託を導入し、状態把握と修繕を適切に実施するなど、維持管理の一層の効率化を図ります。								
また、土木事務所と連携し、管きよの清掃による不具合の解消、点検や路面下空洞化調査等により、下水道起因による陥没事故を未然に防止します。台風時等の下水道施設の被害についても、迅速な緊急対応に努めます。								
<b>(2) 効率的な雨水管理の推進等</b>		<b>332,400 千円</b>						
雨水貯留施設における水位情報をもとにした既存施設の有効活用の検討、雨天時の污水管への浸入水対策など適切な雨水管理に努めます。また、再生水を活用し整備したせせらぎについて、地域の方々と土木事務所が連携し、適切な修繕を行い、魅力ある水・緑環境を維持します。								
<b>2 下水道台帳等管理事業</b>		<b>543,031 千円</b>						
膨大な下水道管きよストックを管理するため、下水道台帳を作成し、システムにて運用しています。運用に当たり、管きよの維持管理情報を蓄積することで維持管理の効率化を進めるとともに、台帳情報を市庁舎の専用端末や市ホームページにて提供しています。								
(2)	ポンプ場費 収益的支出 1款1項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		3,326,154	3,038,108	288,046	—	—	16,870	3,309,284
ポンプ場では、雨水を速やかに排除することで浸水を防止するとともに、家庭などからの自然流下が困難な污水を水再生センターへ送水します。								
また、主ポンプや自家発電設備などの主要設備については、予防保全型の維持管理により計画的な修繕を推進し、長寿命化を図ります。								
<b>1 ポンプ場事業</b>		<b>3,326,154 千円</b>						
大型ポンプ場 26 か所、地下道などが降雨時に浸水しないための小規模排水ポンプ場 25 か所及び自然流下が困難な污水を中継するマンホールポンプ施設 20 か所の維持管理を行い、省エネルギーや温室効果ガス削減に努めます。								

(3)	処理場費 収益的支出 1 款 1 項 3 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		16,471,626	15,996,714	474,912	—	—	2,348,020	14,123,606

水再生センターでは、家庭や事業所から流れてくる汚水を浄化し海や川の水質を保全するとともに、大雨を速やかに排除し浸水を防止しています。

汚泥資源化センターでは、水再生センターの処理工程で発生する汚泥から消化ガスを取り出し発電等に利用するとともに、汚泥の燃料化や焼却による減量化を図ります。

**1 水再生センター事業 16,471,626 千円**

11 か所の水再生センター、2 か所の汚泥資源化センターの維持管理を行い、新技術導入により電力使用量の多い送風機の電力を削減するなど、省エネルギーや温室効果ガス削減に努めます。

また、汚泥燃料化施設、改良土プラントの管理運営を P F I 事業で実施し、汚泥の有効利用及び温室効果ガス削減を行います。

経営の効率化については、場内清掃点検業務、汚泥資源化センター等包括的管理委託を継続し、また、汚泥処理で発生した消化ガスを用いて発電し、固定価格買取制度で売電を図るなど維持管理費の節減に努めます。

(4)	排水設備費 収益的支出 1 款 1 項 4 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		116,816	83,476	33,340	720	—	489	115,607

**1 排水設備運営事業 107,415 千円**

未水洗化世帯の水洗化及び排水設備の適正な設置を促進するため、水洗化の指導・相談・助成制度の運用・宅地内排水設備工事の検査・工事店の指定などを行うとともに、効率的な排水設備計画確認業務のための電子化を検討します。

また、災害時の自助・共助の促進を図る取り組みとして、マンホールトイレ設置助成を行います。

**2 グリーンインフラ活用促進事業 9,401 千円**

雨水の保水・浸透機能を高める取組として、雨水貯留タンクや宅内雨水浸透ますの設置に係る助成と併せて、農地への浸透を促進する雨水流出対策を行います。

(5)	業務費 収益的支出 1 款 1 項 5 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		137,158	191,082	△53,924	—	—	17,034	120,124

公共下水道に排水している一般世帯・事業所等に対し、適正に下水道使用料の徴収を行います。

**1 下水道使用料徴収経費** **118,812 千円**

公共下水道への接続確認調査や使用水量の認定等を行い、下水道使用料を適正に徴収します。

**2 市境相互負担金** **18,346 千円**

隣接する各市との市境区域で、地形上やむを得ない理由から、引き続き、「下水の排除及び処理事務の相互委託に関する協定」に基づいて、下水道施設の相互利用にかかる経費について負担します。(川崎市、町田市、鎌倉市、藤沢市)

(6)	水道事業会計繰出金 収益的支出 1 款 1 項 6 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		4,900,000	4,600,000	300,000	—	—	—	4,900,000

下水道使用料の徴収を水道局へ委任することに伴う徴収事務に要する諸経費について負担します。

**1 水道事業会計繰出金** **4,900,000 千円**

料金の徴収形態を同一とする水道事業、下水道事業の2事業体が、同一の利用者に対して各々、独自に徴収業務を行うことは非効率、不経済であることから、経費節減、効率的な事業執行を図るために「下水道使用料の徴収等を水道事業管理者に委任する規則」に基づき、水道利用に係る下水道使用料については水道局に徴収を委任します。そのため、発生する諸経費について負担します。

(7)	総係費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1 款 1 項 7 目	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		274,729	269,179	5,550	—	—	46,428	228,301

**1 下水道広報事業 12,757 千円**

「水の日」などのイベントや、環境教育への支援などを通じて下水道事業の重要性や魅力を発信していきます。また、デジタルメディアなど各種広報媒体を積極的に活用した広報活動を展開します。

**2 下水道事業経営研究事業 5,520 千円**

学識経験者等により構成され、広く専門的な見地から今後の施策や財政運営など経営に関し、必要な事項についての調査研究及び審議を行う附属機関「横浜市下水道事業経営研究会」を運営します。

**3 海外水ビジネス展開支援事業 37,985 千円**

横浜水ビジネス協議会会員企業と連携し、横浜のプレゼンス向上及び市内企業等のビジネスチャンスの拡大につなげるため、海外関係者とのビジネスマッチングやベトナム国やフィリピン国で下水道整備等のビジネスチャンスの創出に向けた技術協力などを推進します。

**4 下水道国際交流事業 17,729 千円**

本市の今後の下水道事業に活かすため、海外の下水道事業者との技術交流等を実施し、先進的な知見や技術の情報収集を図り、人材育成を進めます。

**5 下水道総務費等 200,738 千円**

職員の人材育成や被服の購入及び財務会計システムの改善・運用等に係る経費、また、建物および設備の維持管理に関する負担金等の一般会計への負担金を計上します。

(8)	下水道研究費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1 款 1 項 8 目	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		54,848	36,786	18,062	—	—	—	54,848

**1 ☆下水道研究事業 54,848 千円**

下水道分野における温室効果ガスの削減に努め、下水道資源の有効活用等に資する最先端の知見収集及び技術の調査研究に取り組みます。

また、業務の効率化につながる技術の導入や市民サービスの更なる向上に繋げるため、ICT や AI などデジタル技術を活用したデジタル・トランスフォーメーションに関する取組の方向性を示すとともに、導入に向けた検討を進めます。

	工場排水対策費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(9)	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項9目	34,469	34,738	△269	—	—	5	34,464

下水道施設の適正な保全・維持管理を図るため、下水道法等に基づいて事業場への規制・指導を行います。

### 1 工場排水対策事業

34,469 千円

下水処理区域内の事業場に対し、下水道法等に基づき除害施設の設置、改善等の指導や排水の監視、規制等を行います。

	減価償却費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(10)	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項10目	76,605,495	76,544,711	60,784	—	—	29,247,142	47,358,353

償却資産について、適正な期間損益の計算を目的に、資産の使用に伴って発生する価値の減少（減価）分を費用化します。

### 1 減価償却費

76,605,495 千円

	資産減耗費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(11)	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項11目	1,230,242	1,187,085	43,157	—	—	474,474	755,768

滅失、破損した資産及び使用不能となった資産について、経済的価値の実態を反映させるため、除却時に帳簿価額の全部又は一部を費用化します。

### 1 資産減耗費

1,230,242 千円

(12)	給与費 収益的支出 1 款 1 項 12 目	本 年 度	前 年 度	差 引	本 年 度 財 源 内 訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		5,687,335	5,749,816	△62,481	—	—	—	5,687,335

下水道事業の維持管理に係る人件費を計上します。

**1 給与費** **5,687,335 千円**

(13)	支払利息及び企業債取扱諸費 収益的支出 1 款 2 項 1 目	本 年 度	前 年 度	差 引	本 年 度 財 源 内 訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		4,515,573	5,562,066	△1,046,493	—	—	1,500	4,514,073

企業債に係る利息及び取扱諸費等を計上します。

**1 支払利息及び企業債取扱諸費** **4,515,573 千円**

(14)	消費税及び地方消費税 収益的支出 1 款 2 項 2 目	本 年 度	前 年 度	差 引	本 年 度 財 源 内 訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		1,140,000	1,230,000	△90,000	—	—	—	1,140,000

消費税及び地方消費税を納付します。

**1 消費税及び地方消費税** **1,140,000 千円**

(15)	雑支出	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款2項3目				千円	千円	千円	千円
		76,713	84,841	△8,128	—	—	—	76,713
過年度分の下水道使用料の過誤納による還付等、他の科目に属さない経費を計上します。								
<b>1 雑支出</b>								<b>76,713 千円</b>
(16)	災害による損失	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款3項1目				千円	千円	千円	千円
		91,670	157,813	△66,143	—	—	91,670	—
屋外に保管されている汚泥焼却灰について処分を進め、これに伴う経費を計上します。								
<b>1 汚泥焼却灰処分等に係る経費</b>								<b>91,670 千円</b>
(17)	その他特別損失	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款3項2目				千円	千円	千円	千円
		40,462	—	40,462	—	—	—	40,462
工事一時中止等に伴う経費を計上します。								
<b>1 工事一時中止等に伴う経費</b>								<b>40,462 千円</b>
(18)	予備費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1款4項1目				千円	千円	千円	千円
		10,000	10,000	0	—	—	—	10,000
予備費を計上します。								
<b>1 予備費</b>								<b>10,000 千円</b>

■建設投資に係る支出（資本的支出）

(19)	下水道整備費 資本的支出 1款1項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良 積立金等
					千円	千円	千円	千円
		55,981,498	55,944,413	37,085	14,266,664	36,809,000	13,972	4,891,862

快適で安全・安心な市民生活の確保に向けて、下水道の再整備・再構築、浸水対策、地震対策などを着実に推進します。

- 1 下水道の再整備・再構築** 30,511,634千円  
 加速度的に老朽化が進行する下水道施設に対し、計画的・効率的な再整備を推進します。
- (1) **効率的な調査の推進** 1,970,000千円  
 下水道管の清掃に合わせたノズルカメラによるスクリーニング調査とその結果を基にした詳細調査を実施します。
- (2) **計画的な再整備・再構築の推進** 28,541,634千円
- ア ☆**下水道管の再整備** 11,080,000千円  
全市域の下水道管を対象に、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じた計画的な再整備を着実に進めます。
- イ **水再生センター・ポンプ場等の再整備・再構築** 17,461,634千円  
 中部水再生センターにおいて下水道施設の再構築を進めるとともに、老朽化した設備等の再整備を着実に進めます。
- 2 浸水対策** 10,064,373千円
- (1) **雨水幹線等の整備（ハード対策）** 9,623,373千円
- ア 計画的な浸水対策の着実な推進 6,578,373千円  
 郊外部を含めた市域全域で、過去に浸水被害を受けた地区を優先して、地域の雨水排水の骨格となる雨水幹線や雨水を貯留する雨水調整池等の整備を進めます。また、戸塚駅周辺地区では浸水に対する安全度を向上させるため本格的な設計作業に着手します。
- イ 横浜駅周辺地区における下水道整備 2,860,000千円  
 都市機能が集積している横浜駅周辺地区において、エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を引き続き進めるとともに、東高島ポンプ場の建設に向け事業を推進します。
- ウ 水再生センター等の耐水化の推進 145,000千円  
 豪雨時の浸水による水再生センターやポンプ場の機能停止を防ぐため、耐水化計画に基づき、耐水化事業を推進します。
- エ 既存施設の有効活用 40,000千円  
 既存の雨水貯留施設のモニタリングを進めるとともに施設の有効活用を検討します。
- (2) **自助・共助の促進支援、危機管理体制の確保（ソフト対策）** 130,000千円
- ア 内水ハザードマップの普及啓発 100,000千円  
 降雨条件を想定最大規模降雨に改定した内水ハザードマップを、内水、洪水、高潮を1冊にまとめた浸水ハザードマップとして全戸配布します。
- イ ☆**横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供** 20,000千円  
 横浜駅西口周辺において、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供します。また、横浜駅東口などへの展開について検討を進めます。

ウ	下水道BCP（業務継続計画）に基づく危機管理体制の確保 大雨に備え、下水道の機能を確保するため、横浜市下水道BCP【水害編】に基づく訓練を通じて災害対応力の向上を図ります。	10,000千円
(3)	グリーンインフラの活用（貯留浸透機能の強化） 公園の整備などにあわせた雨水の貯留浸透機能向上を図る取組などを進めます。	311,000千円
3	地震対策	5,984,470千円
(1)	ハマッコトイレ（災害時下水直結式仮設トイレ）の整備 震災時に地域防災拠点等でトイレが使用できるようハマッコトイレの整備を進めます。	626,000千円
(2)	下水道施設の耐震性能の向上 地域防災拠点等流末・緊急輸送路・水再生センターなどの耐震化に加え、津波対策として電気設備の高所化などを進めます。	5,348,470千円
(3)	下水道BCP（業務継続計画）に基づく危機管理体制の確保 震災時においても、下水道の機能を確保するため、横浜市下水道BCP【地震・津波編】に基づく訓練を通じて災害対応力の向上を図ります。	10,000千円
4	良好な水環境の創出	8,910,836千円
(1)	下水処理機能の向上 設備機器の更新に併せて窒素やリンを除去する高度処理の導入などを進めます。	8,454,836千円
(2)	合流式下水道の改善 良好な水環境の創出に向けて、雨水吐の改良等を進めます。	456,000千円
5	地球温暖化対策 機器の高効率化による省エネ化を引き続き推進するとともに、自家消費型の太陽光発電設備導入に向けた検討を進めます。	500,185千円
6	技術開発 下水道資源の農業分野での有効活用に向けて、実証事業を進めます。	10,000千円

(20)	下水道改良費 資本的支出 1款1項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良 積立金等
					千円	千円	千円	千円
		1,129,099	1,331,647	△202,548	—	—	—	1,129,099

経年劣化により機能低下した水再生センター・ポンプ場等の設備を改良し、機能回復と耐用年数の延長を図ります。

- |   |  |             |
|---|--|-------------|
| 1 | 水再生センター・ポンプ場等の改良<br>水再生センター11か所、汚泥資源化センター2か所、大型ポンプ場26か所等の設備を対象に改良工事を施工します。改良にあたっては、省エネルギー機器の導入などにより、維持管理費増大の抑制に努めます。 | 1,129,099千円 |
|   | ・電気設備改良工事  | 13件         |
|   | ・機械設備改良工事  | 12件         |

(21)	企業備品購入費 資本的支出 1款1項3目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		142,167	236,582	△94,415	20,000	—	—	122,167
<p>事業実施に必要な企業備品（車両又は機械・装置の附属設備に含まれない器具備品）を購入します。</p> <p>企業備品とは、耐用年数が1年以上、かつ取得価額が10万円（税抜）以上の備品です。</p> <p><b>1 企業備品購入費</b> <span style="float: right;"><b>142,167千円</b></span>  災害対応用ポンプ 一式 等</p>								
(22)	リース債務支払額 資本的支出 1款1項4目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		38,125	59,285	△21,160	—	—	—	38,125
<p>リース資産の本年度のリース料について執行します。</p> <p><b>1 リース債務支払額</b> <span style="float: right;"><b>38,125千円</b></span></p>								
(23)	給与費 資本的支出 1款1項5目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		2,001,323	2,109,106	△107,783	—	—	—	2,001,323
<p>下水道事業の建設改良に係る人件費を計上します。</p> <p><b>1 給与費</b> <span style="float: right;"><b>2,001,323千円</b></span></p>								

(24)	企業債償還金 資本的支出 1款2項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	損益勘定 留保資金等
					千円	千円	千円	千円
		63,446,864	72,004,578	△8,557,714	—	19,638,000	—	43,808,864

過去に下水道整備費等の財源として発行した企業債の当年度償還金を計上します。

**1 企業債償還金** **63,446,864 千円**

(25)	水洗便所改造 資金貸付金 資本的支出 1款3項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	損益勘定 留保資金等
					千円	千円	千円	千円
		3,566	4,169	△603	—	—	2,041	1,525

処理区域内において、水洗化を促進するため、水洗化工事等の工事費の一部について、貸付けを行います。

**1 水洗便所改造資金貸付事業** **3,566 千円**

(26)	予備費 資本的支出 1款4項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	損益勘定 留保資金等
					千円	千円	千円	千円
		10,000	10,000	0	—	—	—	10,000

予備費を計上します。

**1 予備費** **10,000 千円**

## 下水道事業の主な整備内容

行政区	主な整備内容	
	下水道管	水再生センター等 (P:ポンプ場、T:水再生センター、C:汚泥資源化センター)
鶴見	①江ヶ崎地区 ②末吉地区 ③駒岡幹線 ④潮田合流幹線	北一T: ⑤⑩送風機設備 北二T: ⑤⑪反応タンク設備(高度処理) ⑫水処理設備(高度処理) ⑬特別高圧電気設備 北部C: ⑭⑮し渣分離設備 ⑯分離液処理水調整池導水渠 ⑰汚泥脱水機設備 鶴見P: ⑱沈砂池設備
神奈川	⑤寺尾子安地区 ⑥平川町地区(取付管)	神奈川T: ⑲汚泥棟 ⑳消毒設備 ㉑耐水化 ㉒ポンプ設備
西	⑦エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線 ⑧戸部地区 ⑨紅葉ヶ丘地区 ⑩平沼地区	桜木P: ㉓ポンプ設備
中	⑪本牧地区 ⑫山下地区 ⑬仲尾台第二合流幹線	中部T: ⑳⑳高速ろ過施設 ㉑水処理設備 ㉒除塵機設備 ㉓ポンプ棟耐水化 ㉔水処理施設防食覆蓋
南	⑭大岡地区 ⑮三春台地区 ⑯清水ヶ丘地区 ⑰大岡川右岸雨水幹線 ⑱永田南合流幹線	
港南	⑲港南地区 ㉑日限山地区(地域防災拠点等流末枝線)	
保土ヶ谷	㉒仏向地区 ㉓桜ヶ丘地区(地域防災拠点等流末枝線)	保土ヶ谷P: ㉔発電設備
旭	㉔本宿地区(地域防災拠点等流末枝線) ㉕二俣川地区	
磯子	㉖岡村合流幹線 ㉗洋光台地区	南部T: ㉘送風機 ㉙放流渠 ㉚水処理設備(高度処理) 磯子P: ㉛除塵機設備 磯子第二P: ㉜除塵機設備
金沢	㉚六浦地区 ㉜東朝比奈地区(地域防災拠点等流末枝線)	金沢T: ㉝発電機棟 ㉞発電設備 ㉟分水槽 ㊱導水渠 ㊲水処理施設防食 ㊳水処理設備(高度処理) 南部C: ㊴消化タンク外装 金沢P: ㊵ポンプ設備
港北	㉝菊名合流幹線 ㉞川向合流幹線 ㉟日吉台地区(地域防災拠点等流末枝線)	港北T: ㊶水処理施設防食覆蓋 ㊷送風機設備 新羽P: ㊸発電設備 ㊹水管橋耐震化 ㊺ポンプ設備 北綱島P: ㊻ポンプ設備 ㊼沈砂池設備 高田P: ㊽沈砂池設備
緑	㊿霧が丘地区(取付管) ㊿西八朔地区 ㊿長津田地区	
青葉	㊿梅が丘地区 ㊿恩田川左岸雨水幹線 ㊿あかね台地区(地域防災拠点等流末枝線)	
都筑	㊿東山田地区(地域防災拠点等流末枝線)	都筑T: ㊿水処理施設防食覆蓋 ㊿ポンプ設備 ㊿水処理設備(高度処理) ㊿脱臭設備 ㊿ゲート設備
戸塚	㊿下倉田地区 ㊿柏尾下倉田幹線 ㊿柏尾地区(緊急輸送路)	西部T: ㊿水処理施設 ㊿汚泥調整槽
栄	㊿飯島雨水調整池 ㊿庄戸地区(地域防災拠点等流末枝線)	栄一T: ㊿配電設備 ㊿中央監視設備 栄二T: ㊿反応タンク防食 ㊿沈砂池設備 ㊿沈砂池耐震化 ㊿雨水調整池 ㊿ポンプ設備
泉	㊿中和田雨水幹線 ㊿和泉地区 ㊿和泉が丘地区	
瀬谷	㊿瀬谷支線 ㊿三ツ境地区 ㊿二ツ橋地区(地域防災拠点等流末枝線)	

太字(ゴシック体)は令和4年度末までに完成予定、下線付きは再整備事業

# 下水道事業の主な整備箇所

